

## 令和6年度 第 4 回学校運営協議会 開催

■日時 2 月 20 日(木)

### ■参加者

古田治(小合地区民生委員児童委員会長) 澤田賢二(小合ブロック青少年健全育成会会長)  
阿部繁(小合地域コミュニティ協議会会長) 田村由美子(小合中学校同窓会副会長)  
近藤陽一(小合中学校同窓会副会長) 木村哲朗(新潟薬科大学教授) 太田公仁(校長)  
山形享(教務主任) 古川雅美(CS 事務員)

### ■会議内容

- 令和 7 年度小合中学校教育ビジョンについて
- 学校運営協議会合同会について
- 次年度の部活動の地域展開について

### ■令和7年度「小合中学校教育」教育ビジョンについて

※校長より説明と提案があり、その後承認されました。

**令和7年度 小合中学校教育ビジョン**

**教育目標：自主 協力 創造**

**重点目標：自己管理能力の育成**

**目指す生徒像**

- すすんでものごとを学び 努力する生徒 (自主)
- 責任を重んじ 協力する生徒 (協力)
- 向上意欲をもち 工夫する生徒 (創造)

**目指す学校像**

- 地域に信頼され、地域と共に歩む学校
- 誰もが安心安全に過ごすことのできる学校

**学校・教職員の構え**

- (1) 指導と評価の一体化により、目指す資質・能力を育成する授業を行う。
- (2) 保護者・地域と連携し、一体となって生徒の学びを支援する。
- (3) 学校だより、学年だより、ホームページなどで積極的に情報を発信する。

**実践事項**

- 生きてはたらく学力の育成**
  - 「何を、なぜ学ぶか」を実感できる授業づくり
  - ・必然性を感じて学ぶ授業を進めます。
  - ・学び合う場面を意図的に設定して授業を進めます。
  - ・学習のツールとしてICT活用を進めます。
  - 個に応じた学習支援
    - ・生徒一人一人に合った支援を行います。
- 豊かな心の育成**
  - 認め合い、支え合い、高め合う集団づくり
  - ・一人一人が人権感覚を磨き、差別やいじめを絶対に許さない学校であり続けます。
  - ・特別活動(学級活動・生徒会活動)を活性化し、生徒による自治活動を促進します。
  - いじめ、不登校の解消に向けた取組
    - ・思いやりのある心でお互いを尊重する豊かな心を育成します。
    - ・保護者、地域、関係機関との連携を密に行います。
- 健康・安全 体力の維持増進**
  - 感染症対策の励行による、安心で安全な学校の維持
  - ・家庭との連携による健康指導を行います。
  - 体力の向上を目指した教育活動の推進
  - ・体育の授業を中核に体力の向上を図ります。
  - ・課外活動(部活動)、特別活動(学校行事)の充実に努めます。

**地域・社会に貢献する実践力の育成**

- 総合的な学習の時間を中核に、自己の生き方を考え、実践できる意欲や能力を育てます。

**一人一人を伸ばす特別支援教育の推進**

- 特別な配慮が必要な生徒の実態を十分に把握し、一人一人に合った支援を行います。

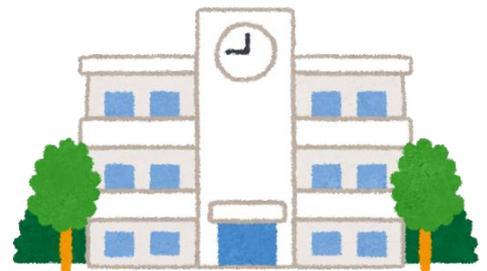
**共に歩む地域の方々**

地域と目指す生徒像を共有し、共に生徒の健全育成を推進します。

- ◎学校運営協議会
- ◎小合地域コミュニティ協議会
- ◎小合地区民生委員児童委員会協議会
- ◎小合中学校同窓会
- ◎新潟薬科大学
- ◎小合地区自治会・町内会
- ◎小合ブロック青少年健全育成会

○教育目標である「自主 協力 創造」は小合中学校創立以来の目標であり、令和 7 年度もこの目標に向かって進んでいきたい。

○重点目標は、引き続き「自己管理能力の育成」を掲げ、地域総がかりで子どもたちの健全育成を図っていききたい。



### 【参加者からの意見、感想】

○いじめ・不登校の現状を心配している。

○先日参観した授業で生徒がお互いに学びあう姿、授業内容もただ答えを与えるのではなく、自分たちで考え見つける様子に感心した。

また、クラスメイトを思いやる場面を目にし、このような授業は他にはなく同席した薬科大生も感心していた。教育ビジョンを実践しているからであり、小学校時代から子どもが地域と関わってきたからだと思う。

### ■ 学校運営協議会合同会について

合同会にて複数の委員より自治会・町内会長の卒入学式参列についてご意見をいただいた。今年度は義務教育修了段階の生徒を見守っていただくという視点から、各自治会・町内会長に案内をしたところである。

### 【参加者からの意見・感想】

○自治会町内会長の参加について、卒入学式だけでなく、他の行事への参加を検討してみてもどうか。

➡引き続き、体育祭、合唱祭について参加をお願いしたい。

○CS 研修会に他の委員からもっと参加してほしい。防災グッズを3階に上げたようだが、住民(高齢者)が上がるのは大変ではないか。

➡地域の防災委員と協議し、「防災室」を整備することのメリットを考えてのことです。

○きらめき運動を子供だけでなく、家庭や地域で取り組んでみてはどうか。自分の生活を見直すよい機会だと思う。



### ■ 次年度の部活動の地域展開について

当校では年々大会参加が難しくなっている実態があるが、今年度は新人大会で野球部、女子バスケットボール部が賞状を持って帰ってきてくれ、子どもたちの頑張りを感じている。既に他の地域団体へ所属している方も多くなっている。

大きな改革であるが移行がうまくいくよう見守っていただきたい。



以上、学校運営協議会の様子をお伝えしました。学校運営協議会も3年目が終了します。これからの社会を生きていく子どもたちを学校、地域、保護者が一体となり支え合い育んでいきましょう！

次年度も、ご理解、ご支援をよろしくお願い致します。

